

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
短期大学部幼児教育学科	教授	山口 昌澄	博士(学術)

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 1. 授業独自資料の作成・配布等	平成16年4月～現在 に至る	全担当授業の全ての回において、最新研究知見も交えた独自資料を作成し配布している。また映像、独自作成した実験体験等の動画を埋め込んだパワーポイントスライドも併用し、口頭や文章説明だけでは理解しづらい現象や実験等を説明する補助教材として活用した。聴覚障害学生に対し、映像解説の資料も併せて配布するなどの配慮もおこなった。
2. アクティブラーニングの導入	平成19年9月～現在 に至る	ゼミナールやキャリア教育系の科目において、学生のコミュニケーションスキル向上を目指したワークを積極的に取り入れた。例えば「お手紙(お礼状)作成」「訪問マナー講座」「面接演習」「集団即興劇」「事例討議」「教材制作・プレゼンテーション」等、社会人としての意識や表現力を高めるプログラムに取り組ませた。
3. 情報機器端末を用いた授業運営・配信等	令和2年4月～現在 に至る	勤務校にてクラウド型学習ポータルサイトを活用し、遠隔授業(オンデマンド・双方向)はもとより、対面授業コンテンツ、受講シート、小テスト・課題、ニュース、学生Q&A等の配信・対応をおこなった。またキャリア関係の授業においては履歴書作成講座での添削指導も行った。全学的な対面授業が再開した現在も継続的に取り組んだ。
(2)作成した教科書・教材・参考書 1.よくわかる青年心理学(共著、ミネルヴァ書房、全189頁)	平成21年9月～23年3 月	前兼任非常勤務校「青年心理学」においてテキストとして使用。第6章第4項「学業的自己疎外感」(102・103頁)、第8章第2項「電子メールと携帯電話(134・135頁)」・第8章第3項「ボランティア活動(136・137頁)」、第8章第5項「疎外感(140・141頁)」・第8章第6項「居場所(142・143頁)」・第8章第7項「社会意識(144・145頁)」・第8章第8項「政治行動(146・147頁)」・第8章第9項「青年期の社会参加をうながすポイント(148・149頁)」分担執筆。
2.子どもを育む心理学(共著、保育出版社、全225頁)	平成21年4月～24年9 月	前任校「保育の心理学Ⅰ」テキストとして使用。第10章第2節1項「乳幼児の人格の発達」(152～154頁)、トピックス10「人格理論」(158頁)分担執筆。
3.乳幼児のための心理学(共著、保育出版社、全218頁)	平成25年4月～30年3 月	前任校「保育の心理学Ⅰ」「保育内容(生活と人間関係)」勤務校「保育の心理学Ⅱ」テキストとして使用。第12章4節「知的障害」(180～183頁)、トピックス12「心の理論」(191頁)分担執筆。
4.発達心理学(おうふう心理学ライブラリー)(共著、おうふう、全209頁)	平成29年4月～31年3 月	現任教「保育の心理学Ⅰ」テキストとして使用。第10章「『自己』の発達」(141～156頁)分担執筆。
5.新版 保育の心理学Ⅱコンパクト版(保育者養成シリーズ)(共著、一藝社、全148頁)	平成30年4月～31年3 月	前任校「保育の心理学Ⅱ」テキストとして使用。第11章「自己の主体性の形成と支援」、第12章「子どもの発達と発達援助」(89～104頁)分担執筆。

6.子どもの発達の連続生を支える保育の心理学(共著, 教育情報出版, 全224頁)	平成31年4月～令和2年3月	前任校「保育の心理学」テキストとして使用した。第5章2節「なぜ、子どもは他者とかわかり、他者を理解できるようになるのでしょうか」(88～91頁)分担執筆。
7.学びと教えて育つ心理学-教育心理学入門-(共著, 教育情報出版(保育出版社), 全196頁)	平成31年4月～現在に至る	前任校「発達学習心理学」、現任教「教育心理学」テキストとして使用。第2章3節4項「情緒と自我の発達」(43～45頁)分担執筆。
8.人間関係(新版)実践 保育内容シリーズ2(共著, 一藝社, 全148頁)	令和元年10月～現在に至る	前任校「子どもと人間関係」、現任教「人間関係の指導法」テキストとして使用。第3章「新生児の『人への関心』」(29～37頁)分担執筆。
9.保育の心理学(保育士を育てる)(共著, 一藝社, 全131頁)	令和2年4月～令和6年3月	前任校「保育の心理学」テキストとして使用。第12章「子どもの学びに関わる理論」(97～104頁)分担執筆。
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
1.PSES公務員試験セミナー(追手門学院大学)講師	平成14年3月12日・13日	左記大学在学学生を対象とした公務員(心理職)試験対策のセミナーにて講師を務めた。内容は、「発達心理」「社会心理」「心理測定」などの基本的な知識(用語・理論等)や、それら専門領域に関連した公務員試験対策方法の解説をおこなった。
2.八代市教育委員会生涯学習課公開講座「おもしろ心理学講座」講師	平成18年9月14日	八代市教育委員会主催、地域住民を対象とした公開講義において講師を務めた。「血液型性格判断」「こっくりさん」といった超常現象を、なぜ人は信じるのか、その心理メカニズムや問題点などについて解説した。
3.第37回熊本県私立幼稚園研修大会第4分科会「気になる幼児と障害への理解」助言者	平成20年7月25日	熊本県私立幼稚園連合会主催の幼児教育関係者向けの研修大会における発表助言者を務めた。地元幼稚園(八千把幼稚園)と協力し、左記大会の事例研究発表を取りまとめ、助言をおこなった。テーマは「気になる幼児と障害への理解」で、発達障がい児に関する教育実践報告をおこなった。
4.全国保育士養成協議会「第12回九州ブロックセミナー大会(ホテルグリーンピア南阿蘇)」第3分科会提案者・司会	平成21年8月25日・26日	社団法人「全国保育士養成協議会」九州ブロック協議会主催の九州管内の保育士養成校向け研修セミナーにて「保育士養成校における学生支援」とのテーマ部会で話題提供、司会進行役を務めた。
5.教員免許状更新講習事業部会・必修領域科目「教育の最新事情」講師	平成21年12月～令和3年8月	「教員免許状更新講習」の必修領域科目「教育の最新事情」講師を務めた。学習心理学に基づく発達障がいの理解や対応方法、カウンセリング心理学・理論を用いた生徒理解や支援アプローチ等について、基礎的・理論的領域から具体的実践方法まで解説した。
6.平成23年度くまもと県民カレッジ主催講座「家庭教育コース 第1回『子どもの成長を楽しもう!～子育ては幼児期の発達理解から』」講師	平成23年5月21日	熊本県教育委員会(生涯学習センター)主催、一般市民を対象とした子育て支援に関する講座の講師を務めた。愛着関係、言語、自己意識(自己主張)の発達など取りあげ、心理学的見地から解説した。
7.八代市公立保育園全体研修会「子どもの心と体の発達について」講師	平成23年11月5日	八代市子ども未来課主催による、公立保育園の能力向上の一環として取り組んでいる全体研修会にて講師を務めた。子どもの心と体の発達について発達心理学的な理論や実験等を取りあげながら解説した。

8.芦北町主任保育士研修会「子どもの発達とそのままずき」講師	平成23年11月8日	八代市芦北町主任保育士を対象としたセミナーにおいて講師を務めた。子どもの発達の偏りをどのようにとらえるべきか、各発達障がいの基本的特性から適切な対応方法など、主に発達心理学的観点から紹介・解説した。
9.平成23年度くまもと県民カレッジ主催講座 サテライト八代教室「ごろっとよかもん！ やつしろ子育て応援講座第1回『子どもの成長を楽しもう』」講師	平成23年11月9日	熊本県教育委員会(生涯学習センター)・八代市教育委員会合同主催の市民を対象とした子育て講座の講師を務めた。子どもの発達メカニズムについて愛着関係、言語、自己意識(自己主張)などを取りあげ、心理学的見地から解説した。なお、この講座は八代市内の幼稚園教諭・保育士、小中学校教諭等の合同研修会としても企画・開催された。
10.平成23年度くまもと県民カレッジ主催講座 サテライト水俣教室「もっと楽しくなる子育て講座『家庭教育や子育てのヒント』」講師	平成23年11月26日	熊本県教育委員会(生涯学習センター)・水俣市教育委員会合同主催、一般市民を対象とした子育て講座の講師を務めた。子どもの発達メカニズムについて愛着関係、言語、自己意識(自己主張)などを取り上げ、心理学的見地より解説。その他、早期教育などの話題にもふれた。
11.八代市公立保育園園長研修会「子育て支援について」講師	平成24年7月10日	八代市立園長会グループ主催の園長研修会の講師として保護者サポートや子育て支援について講習をおこなった。その他、統廃合化が進む公立保育園の今後のあり方や存在意義についてもふれた。
12.平成24年度くまもと県民カレッジ主催講座 サテライトあさぎり教室「知っておきたい子どもの世界～現代の子育て事情」講師	平成24年11月9日	熊本県教育委員会主催の市民向け講座にて講師を務めた。子どもの心の発達を理解するため「甘え(土居, 1971)」概念、アイデンティティ発達、動機づけ、カウンセリングテクニック等について解説・紹介をおこなった。
13.平成24年度中九州短期大学公開講座「映画 de 心理学」講師	平成24年12月2日	前任校の広報活動の一環である地域市民向けの公開講座の講師を務めた。子どもの成長をテーマとした映画作品を取り上げ、作品構造や、登場人物の心の発達などについて、心理学的観点から鑑賞するポイントについて解説・紹介した。
14.平成25年度くまもと県民カレッジリレー講座「キャンパスパレア『「そだちの遅れ」ところの理解』」講師	平成25年8月20日	熊本県教育委員会主催の市民向け講座にて講師を務めた。近年保育・教育現場でも注目の高い「特別な配慮・支援を要する子ども」についての理解方法や対応姿勢について発達心理学的見地から解説した。またパニックや困難場面における具体的対応方法なども紹介した。
15.宇城市立松橋支援学校専門性向上研修会「発達障がいのある児童生徒の理解と支援について」講師	平成25年8月28日	宇城市立松橋支援学校主催、同校全教員、近隣の特別支援に携わる教諭および地域市民の参加した研修会講師を務めた。「発達の偏り」についての理解方法について発達心理学的見地から紹介した。またパニックや困難場面、望ましい特性を伸ばす上での具体的支援方法などについても紹介した。
16.平成25年度くまもと県民カレッジ主催講座サテライト球磨教室「子どもの成長を楽しもう！ ～子育ては幼児期の発達理解から」講師	平成25年9月21日	熊本県教育委員会主催の市民向け講座にて講師を務めた。子どもの心の発達メカニズムを心理学的見地から解説した。また子育て上重要となる「対話(泉谷, 2010)」についても詳しく紹介した。

17.平成25年度熊本県保育協会「保育士有資格者研修会」講師(人吉・天草会場)	平成25年11月21日・27日	熊本県保育協会主催, 保育士有資格者を対象に, 再就職支援を目的とした研修会(「『育ち』へ寄りそ保育に向けて」)の講師を務めた(於 人吉市総合福祉センター)。乳幼児期の心理発達メカニズムに基づいた, 子どもの自立支援方法等について紹介した。併せて, コミュニケーション能力向上のためのワークショップ等も実施し, 子どもの育ちをより良く受け止める方法についても紹介した。
18.平成25年度中九州短期大学公開講座「子どもの育ちを“みる”—発達の偏りという問題によせて」講師	平成25年12月14日	前任校地域市民向け公開講座において講師を務めた。昨今保育・教育現場で注目されている「特別な支援を要する子ども達」について, 認知・社会関係面での基本的な発達特性や, 困難場面について紹介した。併せて発達障害の特性理解をうながす体験型ワークショップも導入した。また, 発達の偏りのみられる子どもに対する具体的な支援方法についても紹介した。
19.球磨郡錦町青年団主催講座「子どもの発達障がいについて」講師	平成26年2月9日	球磨郡錦町の青年団主催, 地域住民, 保育士, 地域団体対象の子育て・教育関連講習会講師を務めた。発達障がいの適切な理解に向け, 自閉症, AD/HD, LD等の特性や, 構造化や背向型指導, パニック対応, コミュニケーションの視覚化など, 効果的なかわりについて, 具体例やこれまでの経験を交えながら分かりやすく紹介した。
20.いずみ保育園(八代市)職員園内研修「カウンセリング～心をくみとる傾聴～」講師	平成26年6月27日	左記保育園における園内研修講師として, 子どもや保護者等とのより良いコミュニケーションについて講習をおこなった。受容や共感, 傾聴などカウンセリングマインドを紹介し, グループワークなどにも取り組ませた。
21.平成26年度くまもと県民カレッジ主催講座 サテライト山江教室「子育てを楽しもう!～“困ったな!”のお悩み解決～」講師	平成26年11月22日	熊本県教育委員会主催の市民向け講座にて講師を務めた。様々な子育て上の困難場面への対応姿勢・方法について心理学的見地から紹介・解説した。
22.平成26年度中九州短期大学 公開講座「子供の育ちを『受けとめる』—家庭教育や子育てのヒント—」講師	平成26年12月6日	前任校地域市民向け公開講座において講師を務めた。発達特性, 子育て上の様々な困難場面の受け止めや具体的対応方法について, 心理・療育側面から解説・紹介した。また育ちの理解を促すグループワークなどにも取り組ませた。
23.第57回 熊本県保育研究大会第2分科会「子どもの発達と環境(3歳以上児)」助言者	平成27年2月6日	熊本県内の保育園が一堂に集まり, 保育や子育て支援に関する研究成果を発表する研究大会の第2分科会「子どもの発達と環境(3歳以上児)」において助言者を務めた。各話題提供者(宇土東保育園 蓑田さとみ氏, 長洲保育園 野口 希氏, 金内保育園 嶋田里美氏)やコーディネーターと審議し, 発表原稿・抄録の取りまとめに関するアドバイスをおこなった。発表当日は, 各話題提供者へのコメント, フロア集団討議進行, フロアからの質疑応答への対応なども務めた。

24.荒尾市PTA連合会合同研修会(Pコミ)「育ちを支えるヒント～発達のかたより・遅れの問題によせて～」講師	平成27年6月28日	熊本県荒尾市PTA連合会主催の市内13小中学校校長、教頭、PTA役員参加の研修会にて講師を務めた。子育て上の様々な困難について発達心理学および療育支援の側面から解説をおこなった。また子どもの言動についての臨床心理学的観点からの理解について紹介し、具体的な育ちの支援方法(構造化・傾聴・受容等)についても紹介した。
25.平成27年度くまもと県民カレッジリレー講座「キャンパスパレア『育ちを支える』～発達障がいという視点によせて～」講師	平成27年9月10日	熊本県教育委員会主催の市民向け講座にて講師を務めた。日常場面で様々な困難を示し、特別な配慮が必要な子ども達を理解する方法や対応姿勢について発達心理学、臨床心理学、療育的見地から解説した。言語、身辺自立、社会性、パニック時対応などの場面別に、具体的対応方法について説明をおこなった。
26.平成27年度くまもと県民カレッジ主催講座 サテライト宇土教室「子どもと親の気持ち～“コミュニケーション”がもたらす魔法」講師	平成27年10月31日	熊本県生涯学習推進センター・宇土市教育委員会共催の市民向け講座にて講師を務めた。怒鳴るなど「強制的しつけ」におけるコミュニケーション上の問題を挙げ、具体的な行動指示や効果的な褒め方について、受講者がワークを通じて学べるような配慮をおこなった。
27.人吉市社会教育委員会・人吉市PTA連絡協議会母親部会共催 第9回家庭教育講演会「『わくわく子育て！』『コミュニケーション』がもたらす魔法」講師	平成28年1月30日	人吉市社会教育委員会・人吉市PTA連絡協議会母親部会共催による市民および保育・教育関係者向けの講座にて講師を務めた。家庭の教育的役割、親としての自覚向上、子育てに関するより良い親子関係づくりや効果的なコミュニケーション方法などについて講演した。
28.第58回熊本県保育研究大会 第1分科会「子どもの発達と環境(3歳未満児)」助言者	平成28年2月5日	熊本県内の保育園が一堂に集まり、保育・子育て支援に関する研究成果を発表する研究大会の第1分科会「子どもの発達と環境(未満児)」において助言者を務めた。話題提供者(鹿本乳児保育園、宮地保育園、若葉保育園)やコーディネーターと審議し、発表原稿・抄録の取りまとめに関するアドバイスをおこなった。発表当日は、話題提供者へのコメント、フロア集団討議進行、質疑応答への対応などもおこなった。
29.平成28年度くまもと県民カレッジ主催講座「“困ったな”のお悩み解決～子どもの育ちを支える視点」講師	平成28年6月18日	熊本県教育委員会(生涯学習センター)主催の一般市民を対象とした子育て支援に関する講座の講師を務めた。強制的なしつけ(どなる・脅す)ことのデメリットについて、学習心理学やカウンセリング心理学的な見地から解説し、適切な褒めや指示など、教育効果を優先した育ちの支援方法についてワークも交えながら具体的に紹介した。
30.泉田保育園(人吉市)保護者支援講話「わくわく子育て！“コミュニケーションがもたらす魔法”」講師	平成28年6月25日	左記保育園保育士・保護者を対象とした子育て理解・啓発のための講演会にて講師を務めた。子育てにおける子ども心理の理解とカウンセリングアプローチによる適切な関わりについて、ワークショップも交えながら分かりやすく解説した。
31.国立阿蘇青少年の家 大阿蘇青少年ボランティアリーダー塾「青少年教育の理解」講師	平成28年11月13日・平成29年5月13日・平成30年5月12日	国立阿蘇青少年の家主催のボランティアリーダー育成講座講師を務めた。子どもの育ちにおける体験活動教育の重要性や支援側の心構え・方法など心理学的に紹介・解説した。

32.第59回熊本県保育研究大会(玉名大会)第1分科会助言者	平成29年1月20日	熊本県社会福祉協議会主催の県下保育園による研究発表大会にて助言者および司会進行を務めた。テーマは「子どもの発達と環境(3歳未満児)」。
33.津市教育委員会家庭教育支援セミナー「子どもの育ちの“受けとめ”と“支え”①・②」講師	平成29年6月5日・12日	三重県津市教育委員会・高田短期大学共催の市民向け講座講師を務めた。子どもの情緒面・コミュニケーション面の発達理論、教育心理的見地やカウンセリングアプローチによる適切な関わりについて、ワークショップも交えながら解説した。
34.平成30年度高田短期大学FD・SD研修会「相互評価の実施について」講師	平成31年2月26日	現任校自己点検・評価委員会主催の学内FD・SD研修の講師を務めた。一般財団法人短期大学基準協会(当時)による「短期大学間の評価活動」支援事業説明、教育の質の向上・充実に資する外部評価活動等の意義、高田短期大学が取り組むべき相互評価の方向性などについて教職員に向け説明を行った。
35.三重県ファミリーサポート・センター会員養成講座「心の発達と障害」講師	令和元年5月～令和6年3月	三重県内における各市町ファミリーサポートセンター主催の、サポーター養成講座講師を務めた(県内各市町年間10回程度)。子どもの心理発達についての基礎的理論、非認知能力、学習心理学的・カウンセリング的アプローチに基づく発達支援について解説した。
36.令和元年度保育士・幼稚園教諭合同研修全体研修会(鈴鹿市)「子どもの主体性を育む保育について」講師	令和元年8月26日	三重県鈴鹿市子ども政策部主催の研修会講師を務めた。現職保育士・幼稚園教諭を対象に、「困難に挑戦する子ども達—“主体的な学び”への視線—」と題し、これからの子どもに求められる「学びに向かう主体性」「粘り強さ」等の非認知能力育成に向けた取り組みについて、事例を挙げながら紹介・解説した。
37.三重県教員免許更新講習連絡協議会 平成31年度教員免許状更新講習「教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)」講師	令和元年9月28日	左記協議会主催の教員免許更新講習選択必修科目講師を務めた(三重大学にて)。いじめや不登校の状況判断や具体的対応方法について紹介・解説した。
38.松阪市「孫育て講座」講師	令和元年12月4日	三重県松阪市健康福祉部こども局こども支援課の要請により、上記講座にて講師を務めた。子どもの発達をどのように捉えるべきか、効果的なコミュニケーション方法など発達心理学・教育心理学的見地から解説した。
39.みえアカデミックセミナー2020「育ちに寄りそい・支えるとは—心理学的理解から—」講師	令和2年8月19日	三重県生涯学習センター主催の県内全14校の高等教育機関による公開セミナーにて講師を務めた。子どもを受容し、やる気を高める子育てのヒントについて発達・教育・臨床心理学的に解説した。
40.育児文化センター地域開放事業「おやこひろばたかたん」子育て講座「よりそい・ささえる～発達心理学的理解から～」講師	令和3年2月15日	現任校地域連携施設「おやこひろば たかたん」主催の市民向け子育て講座にて講師を務めた。
41.桑名市公立保育所統合事例検討会公開保育講師	令和3年6月29日	三重県桑名市厚生保育園の公開保育実践に関し、市内公立保育者とともに、検討や提言の取りまとめを行った。加えて、障害児保育のポイントについてミニ講義も参加者に対し実施した。

42.三重県教員免許更新講習連絡協議会令和2年度教員免許状更新講習「教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)」講師(三重大学;オンライン)	令和3年7月16日～9月6日(動画配信)	左記協議会主催の教員免許更新講習選択必修科目講師を務めた(三重大学にて)。今回はコロナ禍での実施ということで、講座動画を3本作成し、オンデマンド配信を行った。
43.「みえアカデミックセミナー2022 公開セミナー」講師	令和4年7月29日	放送大学三重学習センターより委嘱を受け、県内大学機関による一般市民向けセミナーの講師を務めた。放送大学三重学習センター代表講師として「子育てのABC～応用行動分析理論から～」と題した講演を行った。
44.育児文化センター地域開放事業「おやこひろば たかたん」子育て講座「よりそい・ささえる～発達心理学的理解から～」講師	令和4年8月18日	現任校地域連携施設「おやこひろば たかたん」主催の市民向け子育て講座にて講師を務めた。
45.令和4年度児童厚生員等研修会(三重県立みえこどもの城)「児童の発達理論」講師	令和4年10月13日	三重県立みえこどもの城主催による児童厚生員等を対象に研修会講師を務めた。乳幼児～児童期の発達理論、子どもの言動をどのように受けとめ対応するのか等、ワークショップも交えながら解説した。
46.放送大学三重学習センター特別講演会「心理学の視点で観る映画」講師	令和5年2月25日	放送大学三重学習センター主催の特別講演会の講師を務めた。ロブ・ライナー監督映画作品「スタンド・バイ・ミー(1986年)」を題材として、思春期心性の特徴やその発達について、発達心理学的観点から解説を行った。
47.津市ファミリー・サポート・センター資質向上研修会講師	令和5年2月25日	三重県津市ファミリーサポートセンター支援員を対象とした研修会講師を務めた。発達障害について、基本的特性や対応方法等、ワークも交えながら解説した。
48.令和5年度家庭教育出前講座(亀山市教育委員会)「心のたくましさ育てるには？」講師(川崎愛児園)	令和5年6月15日	三重県亀山市教育委員会主催の子育て支援事業の一環である保護者・保育者対象の講座にて講師を務めた。子どもの非認知能力の育ちをテーマに、現在の日本の幼児教育に導入されるに至った背景や、能力育成のヒント等、内外の研究調査データを紹介しながら解説をおこなった。
49.令和5年度三重県放課後児童支援員等認定資格研修「子どもの発達理解」講師(オンデマンド配信)	令和5年6月29日(収録:ユマニテクプラザ)	「放課後児童支援員等研修事業実施要綱」に基づき放課後児童支援員として有資格者となるための研修会講師を務めた(三重県子ども・福祉部委託事業)。主に児童期における発達理解(理論)、遊び・生活・社会性の発達、個人差を踏まえた育ちの支援、放課後児童支援員の存在意義等について、発達・教育心理学的側面から解説をおこなった。
50.令和5年度家庭教育出前講座(亀山市教育委員会)講師(亀山市立屋生小学校)	令和5年11月1日	三重県亀山市教育委員会主催の子育て支援事業の一環である保護者・保育者対象の講座にて講師を務めた。子どもの非認知能力の育ちをテーマに、現在の日本の幼児教育に導入されるに至った背景や、能力育成のヒント等、内外の研究調査データを紹介しながら解説をおこなった。
51.令和5年度家庭教育出前講座(亀山市教育委員会)講師(亀山市立亀山幼稚園)	令和5年11月16日	三重県亀山市教育委員会主催の子育て支援事業の一環である保護者・保育者対象の講座にて講師を務めた。子どもの非認知能力の育ちをテーマに、現在の日本の幼児教育に導入されるに至った背景や、能力育成のヒント等、内外の研究調査データを紹介しながら解説をおこなった。

52.放送大学三重学習センター公開講演会「子どもに『なんで・・・するの?』と言ってしまふ、あなたへ～甘えと自立、カウンセリングマインドの観点から～」講師	令和5年12月23日	放送大学三重学習センター主催の一般市民向け講演会講師を務めた。子どもの言動や心理の適切な理解と関わりについて、発達・教育・臨床心理学的視点から解説した。
53.津市ファミリー・サポート・センター資質向上研修会「発達障害について」講師	令和6年2月24日	三重県津市ファミリーサポートセンター支援員を対象とした研修会講師を務めた。発達障害について、基本的特性や対応方法等、ワークも交えながら解説した。
54.放送大学三重学習センター特別講演会「心理学の視点で観る映画」講師	令和6年3月2日	放送大学三重学習センター主催の特別講演会の講師を務めた。スティーブン・ダルドリー監督映画作品「リトルダンサー(2000年)」を題材として、青年期心性(エゴ・アイデンティティ形成)の特徴やその発達について、発達心理学的な観点から解説を行った。
(4)その他教育活動上特記すべき事項 1.シルバーワークプラザ八代ホームヘルパー3級養成講座「心理面への援助方法」講師	平成16年11月11日	「シルバーワークプラザ八代」登録者を対象に、ホームヘルパー3級取得に必要な心理学的援助法に関する講義をおこなった。「健康」の定義、「老い」のイメージ、高齢者の生きがい、人格発達、精神疾患、認知症、非言語的コミュニケーション、「老い」の受容、記憶のメカニズム、ストレスやソーシャル・サポート、回想療法などを解説した。
2.高等教育コンソーシアム熊本進学ガイダンスセミナー in くまもと 高校生の部『『こころの不思議』を学ぶ～私たちの「リアル」はどこに?～』講師	平成22年7月4日	高等教育コンソーシアム熊本・独立法人大学入試センター共同主催の進学セミナー(於 熊本大学)において、県下高校生に対して模擬授業をおこなった。錯視図や人間の情報処理の特性(知覚の文脈効果・ゲシュタルト効果など)について、心理学的見地から解説をおこなった。
3.高等教育コンソーシアム熊本進学ガイダンスセミナー2011「子ども心理学入門」講師	平成23年11月13日	高等教育コンソーシアム熊本主催で開催された進学ガイダンス(於 崇城大学)において、参加高校生に対し、大学での学びを紹介するための模擬授業をおこなった。内容としては、発達心理学の代表的な理論や実験等を分かりやすく紹介した。

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
1.さまよえる青少年の心ーアイデンティティの病理ー発達臨床心理学的考察	共著	平成16年9月	北大路書房	谷 冬彦・西平 直・佐方 哲彦・宮下一博・相澤直樹・溝上慎一・岡田 努・森岡正芳・佐藤枝里・石垣琢磨・永井 徹・近藤隆夫・鉄島清毅・井上 果子・北山 修・小澤一仁・高田晃治・茂垣まどか・加藤弘通・溝口 剛・佐藤浩一・渡辺 亘・白井利明ら・高澤健司・下坂 剛・三好昭子・宇都宮 博・林 恵・山田裕子・宮坂 振也・ 山口昌澄 ・大野 久	1

2. これだけは知っておこう: 保育・教育実習BOOK	共著	平成17年5月	学事出版	中川誠也・福田 隆・小島法子・田中弘美・市原肇・香月芳子・谷川裕稔・西田明史・ 山口昌澄 ・下坂 剛・永野典嗣・山下 誠	3
3. 学習支援を「トータル・プロデュース」する: ユニバーサル化時代の大学教育	共著	平成17年9月	明治図書	谷川裕稔・ 山口昌澄 ・下坂 剛	37
4. よくわかる青年心理学	共著	平成18年1月	ミネルヴァ書房	白井利明・岡田 努・柏尾眞津子・河野莊子・小林 亮・谷 冬彦・平石賢二・ 山口昌澄 ・山野 晃・若松養亮	16
5. 子どもを育む心理学	共著	平成19年4月	保育出版社	小林芳郎・亀島信也・三浦隆則・千草篤磨・梅崎高行・角田和也・山田理恵子・岩間 浩・鈴木美枝子・勝木洋子・若尾良徳・小沢哲史・古川 聡・鈴木公洋・清水益治・葉山貴美子・和田香誉・小佐野 綾・今井真理・森野美央・林 牧子・草薙恵美子・井上靖子・小石亜希子・畠山 寛・浜崎隆司・永房典之・栗田喜勝・熊野道子・富田久枝・ 山口昌澄 他16名	4
6. パーソナリティ心理学へのアプローチ	共著	平成20年12月	金子書房	岡田 努・谷 冬彦・横井優子・川本恵津子・ 山口昌澄 他7名	15
7. 乳幼児のための心理学	共著	平成21年3月	保育出版社	小林芳郎・畠山 寛・田村修一・村中由紀子・山田理恵子・吉田隆夫・琴浦志津・開 仁志・橋本麻里・宮内 洋・武田京子・佐藤信雄・高岡昌子・古川 聡・橋本多恵・小沢哲史・今井真理・野崎秀正・永房典之・竹ノ山圭二郎・星 信子・浜崎隆司・小原倫子・岡本かおり・塚本久仁佳・幸順子・小川内哲生・武井祐子・藤本昌樹・井上靖子・安原青兒・鈴木隆男・中島千加子・山田真理子・原 陽一郎・伊藤智・中村廣光・権藤真織・鷲岳 覚・国松清子・ 山口昌澄 他6名	5

8. 発達のための臨床心理学	共著	平成22年3月	保育出版社	小林芳郎・千原美重子・中島洋・青木万里・津田尚子・尾崎雅子・上長然・近喰ふじ子・鷺岳覚・中川佳子・倉盛美穂子・荒井真太郎・福丸由佳・土沢薫・塚本久仁佳・松本博次・戸田竜也・崎原秀樹・濱田尚志・小野里美帆・琴浦志津・烏丸佐知子・森慶輔・村田道彦・平原 博・田代順・加藤由美・伊東真里・松田英子・杉村省吾・山口勝己・尾辻俊昭・堀尾良弘・松浦隆志・小熊順子・島治伸・東俊一・ 山口昌澄 他12名	3
9. 子どもと教師のための教育原理	共著	平成22年4月	保育出版社	石田美清・渡部芳樹・中田尚美・西井麻美・ 山口昌澄 ・他20名	5
10. 発達心理学(おうふう心理学ライブラリー)	共著	平成22年11月	おうふう	榎本博明・堀 正・熊野道子・久保ゆかり・天谷裕子・脇田貴文・首藤敏元・國見充展・草野いづみ・槇洋一・ 山口昌澄 ・高井範子・白井利明	16
11. 自己心理学の最先端—自己の構造と機能を科学する	共著	平成23年2月	あいり出版	榎本博明・白井利明・大野 久・土肥伊都子・野口裕之・谷伊織・並川努・遠藤由美・梶原佳子・槇 洋一・神谷俊次・細井啓子・ 山口昌澄 他17名	12
12. カウンセリング心理学(おうふう心理学ライブラリー)	共著	平成23年4月	おうふう	榎本博明・瀧本孝雄・小塩真司・平野直巳・関根剛・ 山口昌澄 他9名	15
13. 学士力を支える学習支援の方法論	共著	平成24年12月	ナカニシヤ出版	谷川裕稔・オルソン協子・奥村玲香・吉沢一也・壁谷一広・赤堀侃司・谷口和也・井東廉介・中川 正・津嘉山淳子・島 治伸・三橋秀子・木村堅一・ 山口昌澄 他 30名	4
14. 新・青年心理学ハンドブック	共著	平成26年1月	福村出版	後藤宗理・二宮克美・高木秀明・大野 久・白井利明・平石賢二・佐藤有耕・若松養亮, 他108名(山口昌澄 含)	1

15. 新しい心理学のアプローチ	共著	平成26年12月	保育出版社	小林芳郎・鎌田次郎・野崎秀正・橋本由里・山本有紀・稲垣 馨・高橋 功・林 美都子・ 山口昌澄 他23名	7
16. 学びと教えて育つ心理学-教育心理学入門-第2版(再掲)	共著	平成27年3月	保育出版社	小林芳郎・皆川 順・上長 然・小原倫子・村中由紀子・山本有紀・蓑毛良助・芝崎美和・ 山口昌澄 他22名	3
17. よくわかる青年心理学—第2版—(再掲)	共著	平成27年3月	ミネルヴァ書房	白井利明・岡田 努・柏尾真津子・河野莊子・小林亮・谷 冬彦・平石賢二・ 山口昌澄 ・山野 晃・若松養亮	16
18. 新版 保育の心理学II (コンパクト版 保育者養成シリーズ)※提出主要業績①	共著	平成30年3月	一藝社	福田真奈・西方毅, 伊藤亮, 小原倫子, 川口めぐみ, 佐々木真吾, 小池はるか, 高岡昌子, 谷 真弓, 山口昌澄 , 伊藤亮, 菱田博之	16
19. 人間関係(〈新版〉実践 保育内容シリーズ)※提出主要業績②	共著	平成30年3月	一藝社	小櫃智子・谷口明子・安治陽子・今泉岳雄・大下純・小櫃智子・木村美佐子・串崎幸代・光本弥生・柴田千賀子・高木友子・谷口明子・目久田純一・山口弘美・ 山口昌澄 ・米川泉子	9
20. 子どもの発達の連続性を支える保育の心理学	共著	令和元年5月	教育情報出版	(全ページ) p.222 (共著者)浅井拓久也・山本有紀・木村拓磨・岩崎桂子・下温湯まゆみ・津田尚子・三道なぎさ・前田雄一・新川朋子・高木玉江・大嶽さと子・熊野道子・ 山口昌澄 他18名	4
21. デザインする保育内容指導法「言葉」	共著	令和元年7月	教育情報出版	(全ページ) p.184 (共著者)田中 謙・高橋汐子・廣部朋美・笠野恵子・長瀬啓子・大竹聖美・ 山口昌澄 他16名	10
22. 「保育の心理学」(保育士を育てる)	共著	令和2年3月	一藝社	瀧口 綾, 福田真奈, 宮崎隆穂, 長谷川直子, 谷真弓, 片岡 祥, 稲葉健, 伊藤 亮, 中村麻衣子, 尾辻俊昭, 川口めぐみ, 山口昌澄 , 糊澤令子, 高岡昌子	8

(論文)					
1. 阪神・淡路大震災の心理的影響に関する研究	共著	平成9年3月	神戸大学発達科学部研究紀要, 第4巻2号, pp.59～73	神藤貴昭・野上奈生・住友育世・齊藤誠一・佐藤眞子・吉田圭吾・柳原利佳子・山本智一・森田英夫・寺村忠志・坂口喜啓・田中孝尚・舛井律子・松田信樹・ 山口昌澄 ・二宮奈津子・宅香菜子	共同研究のため抽出不可。
2. 阪神・淡路大震災の心理的影響に関する研究Ⅱー第1回調査の報告ー	共著	平成9年9月	神戸大学発達科学部研究紀要, 第5巻1号, pp.15～25	住友育世・野上奈生・齊藤誠一・佐藤眞子・吉田圭吾・清水民子・柳原利佳子・山本智一・森田英夫・寺村忠志・坂口喜啓・田中孝尚・神藤貴昭・舛井律子・松田信樹・ 山口昌澄 ・二宮奈津子・宅香菜子	共同研究のため抽出不可
3. 現代青少年の「キレる」ということに関する心理学的研究(2)ーゲームセンターおよびコンビニエンスストアの利用状況とキレ行動の関連ー	共著	平成13年3月	神戸大学発達科学部研究紀要, 第8巻2号, pp.35～40	木村朋子・下坂剛・西田裕紀子・齊藤誠一・伊藤崇達・神藤貴昭・柳原利佳子・久木山健一・ 山口昌澄 ・原田實・榎本千春・坂本由佳・前川雅子・藤井智子	共同研究のため抽出不可
4. 共感性と自己の感情に対する態度との関連(1)	共著	平成13年9月	神戸大学発達科学部研究紀要, 第9巻1号, pp.1～8	澤田瑞也・ 山口昌澄 ・鈴木求美子・島津由美・喜納歩美	共同研究のため抽出不可
5. 現代青少年の「キレる」ということに関する心理学的研究(3)ーキレ衝動抑制方略尺度作成の試みー	共著	平成13年9月	神戸大学発達科学部研究紀要, 第9巻1号, pp.9～17	久木山健一・伊藤崇達・神藤貴昭・齊藤誠一・柳原利佳子・原田實・ 山口昌澄 ・下坂剛・西田裕紀子・榎本千春・木村朋子・藤井智子・石田亮一	共同研究のため抽出不可
6. 中学生の生活スタイルに関する地域比較研究	共著	平成13年9月	神戸大学発達科学部研究紀要, 第9巻1号, pp.19～30	西田裕紀子・木村朋子・齊藤誠一・伊藤崇達・神藤貴昭・久木山健一・原田實・ 山口昌澄 ・柳原利佳子・榎本千春・藤井智子・石田亮一	共同研究のため抽出不可
7. 現代青年における生活態度と疎外との関係(査読あり)	単著	平成13年12月	神戸大学発達・臨床心理学研究, 第1巻, pp.17～28		12
8. 共感性と自己の感情に対する態度との関連(2)(査読あり)	共著	平成13年12月	神戸大学発達・臨床心理学研究, 第1巻, pp.1～8	澤田瑞也・ 山口昌澄 ・鈴木求美子・喜納歩美	共同研究のため抽出不可

9.現代青少年の「キレる」ということに関する心理学的研究(4)―生活習慣認知との関連―(査読あり)	共著	平成14年4月	人間科学研究, 第9巻2号, pp.53~60	柳原利佳子・齊藤誠一・伊藤崇達・神藤貴昭・原田 實・山口昌澄・下坂剛・西田裕紀子・久木山健一・榎本千春・木村朋子・藤井智子・石田亮一	共同研究のため抽出不可
10.大学生の「学業的自己疎外感」に関する研究―「学業的自己疎外感」尺度の作成および信頼性・妥当性の検討(査読あり)	単著	平成14年12月	神戸大学発達・臨床心理学研究, 第2巻, pp.11~22		12
11.大学生の学業的自己疎外感に関する研究―外的統制・非社会的志向性・学業態度・大学生生活への満足度との関連から―(査読あり)□	単著	平成15年3月	人間科学研究, 第10巻2号, pp.63~72		10
12.社会とのかかわりを重視した疎外感研究(博士論文)	単著	平成15年12月	神戸大学大学院総合人間科学研究科(博い 第483号)		193
13.集団的自尊心と疎外感の関連―想定集団カテゴリー別の関連構造の検討―(査読あり)	単著	平成16年2月	神戸大学発達・臨床心理学研究, 第3巻, pp.1~21□		21
14.「学業的自己疎外感」の消極的学業態度・大学不適應に及ぼす影響に関する研究	単著	平成17年3月	中九州短期大学論叢, 第27巻1号, pp.32~39		8
15.子どものメンタルヘルスプロブレムの発生時期とその対応―調査票調査の提案(査読あり)	共著	平成17年6月	保健医療科学, 第54巻 2号, pp.113~118	松田智大・山口昌澄	共同研究のため抽出不可
16.「自己」の境界線:生活価値観と疎外感との関連から	単著	平成18年3月	中九州短期大学論叢, 第28巻1号, pp.65~76		12
17.「トータルな学習支援」の試み―事例報告(1)―	共著	平成19年10月	中九州短期大学論叢, 第30巻1号, pp.24~33	山口昌澄・中尾香子・谷川裕稔	共同研究のため抽出不可
18.「トータルな学習支援」の試み―事例報告(2)―	共著	平成20年3月	中九州短期大学論叢, 第30巻2号, pp.99~105	山口昌澄・中尾香子・谷川裕稔	共同研究のため抽出不可
19.八代市における就学前子育てニーズと支援についての一考察(その1)―「八代市次世代育成支援に関するニーズ調査」の分析より―	共著	平成25年3月	中九州短期大学論叢, 第35巻1号, pp.17~27	山口昌澄・田中優也	共同研究のため抽出不可

20.青年期女性における自己(価値)形成に関する研究—父娘関係(父親からの影響度)という視点	共著	平成26年5月	中九州短期大学論叢, 第36巻1号, pp.3~14	榎 淳子・ 山口昌澄	共同研究のため抽出不可
21.現代青年の日常の活動に対する評価—研究委員会共同調査の結果に基づく検討—(査読あり)	共著	平成30年8月	青年心理学研究30(1), p.81-84	山口昌澄 ・五十嵐 敦	2.5
22.「高田短期大学ディプロマ・ポリシー」到達度に関する研究	単著	令和5年3月	高田短期大学紀要, 41号, pp.13-24		12
23.「高田短期大学ディプロマ・ポリシー」到達度に関する研究(2)	単著	令和6年3月	高田短期大学紀要, 42号, pp.13-23		11
(学会発表)					
1.大学生の日常生活における「疎外」のありかた—「行為面」と「認知面」の疎外の関係—(ポスター)	単独	平成8年11月2日	日本教育心理学会第38回総会(筑波大学)		
2.阪神・淡路大震災の心理的影響に関する研究(1)(ポスター)	共同	平成8年11月3日	日本教育心理学会第38回総会(筑波大学)	齊藤 誠一・佐藤 眞子・吉田 圭吾・柳原 利佳子・神藤 貴昭・野上 奈生・松田 信樹・ 山口昌澄 ・住友 育世・舛井 律子・宅 香菜子	
3.阪神・淡路大震災の心理的影響に関する研究(2)(ポスター)	共同	平成8年11月3日	日本教育心理学会第38回総会(筑波大学)	佐藤 眞子・齊藤 誠一・吉田 圭吾・柳原 利佳子・神藤 貴昭・野上 奈生・松田 信樹・ 山口昌澄 ・住友 育世・舛井 律子・宅 香菜子	
4.現代青年の生活態度と疎外(ポスター)	単独	平成13年9月8日	日本教育心理学会第43回総会(愛知教育大学(名古屋国際会議場))		
5.現代中学生の不適応に関する基礎的研究(7)—地域比較によるゲームセンター利用とキレ行動の検討(ポスター)	共同	平成13年9月9日	日本教育心理学会第43回総会(愛知教育大学(名古屋国際会議場))	木村 朋子・ 山口昌澄 ・藤井 智子・西田 裕紀子・齊藤 誠一・原田 實・榎本 千春	
6.現代青年の生活態度と疎外の関係(口頭)	単独	平成13年10月7日	日本青年心理学会第9回大会(白百合女子大学)		

7.大学生の「学業的自己疎外」に関する研究—「学業的自己疎外」尺度の作成および信頼性・妥当性の検討(口頭)	単独	平成14年10月26日	日本青年心理学会第10回大会(名古屋市立大学)		
8.大学生の「学業的自己疎外」に関する研究—「学業的自己疎外」尺度の作成および信頼性・妥当性の検討(ポスター)	単独	平成15年3月27日	日本発達心理学会第14回大会(兵庫教育大学(神戸国際会議場))		
9.「前景」としての「自己」試論(口頭)	話題提供(単独)	平成15年4月26日	心理科学研究会2003年春期研究会(ホテルラフォーレ琵琶湖)	鈴木亜由美(京都大学大学院)・夏堀 睦(中央大学)・ 山口昌澄 (神戸大学大学院)・照井裕子(中央大学大学院)・長崎純子(龍谷大学大学院)	
10.大学生の「学業的自己疎外感」に関する研究(2)(ポスター)	単独	平成15年8月24日	日本教育心理学会第45回総会(大阪教育大学(大阪国際会議場))		
11.疎外感の構造に関する研究—確認的因子分析をつうじて(ポスター)	単独	平成15年9月14日	日本心理学会第67回大会(東京大学)		
12.大学生の生活価値観と疎外感の関連(ポスター)	単独	平成15年9月24日	日本性格心理学会第12回大会(同支社大学今出川キャンパス)		
13.集団的自尊心と疎外感の関連—想定集団力カテゴリー別の関連構造の検討—(ポスター)	単独	平成16年9月13日	日本心理学会第68回大会(関西大学)		
14.生活価値観と疎外感の関連—生活価値観の類型論的把握による検討—(ポスター)	単独	平成16年10月10日	日本教育心理学会第46回総会(富山大学)		
15.社会との関わりにおける疎外感(口頭)	話題提供(単独)	平成17年3月27日	日本発達心理学会第16回大会 学会会員企画シンポジウム(神戸大学(神戸国際会議場))	話題提供者: 山口昌澄 (中九州短期大学)・宮崎貴子(立教大学)・伊田勝憲(松坂大学)・志村ゆず(長野看護大学), 指定討論者:岡田努(金沢大学)・榎本博明(名城大学)	

16.青年期における「社会」という困難さ—疎外感と生活価値観の関連に着目して—(口頭)	話題提供 (単独)	平成17年3月29日	日本発達心理学会第16回大会 大会準備委員会企画シンポジウム(神戸大学(神戸国際会議場))	企画・司会:谷冬彦(神戸大学), 話題提供者:谷冬彦(神戸大学)・岡田努(金沢大学)・相沢直樹(神戸大学)・ 山口昌澄 (中九州短期大学)・指定討論者:佐藤浩一(群馬大学)	
17.全入時代を迎えた大学・短大における学習支援-発達障害をもつ学生への取り組みも視野に入れて-(口頭)	話題提供 (単独)	平成19年9月1日	日本リメディアル教育学会第3回全国大会 ミニシンポジウムI(西南学院大学)	話題提供者:谷川裕稔(四国大学)・ 山口昌澄 (中九州短期大学)・下坂剛(中九州短期大学), 司会:中尾香子(中九州短期大学)	
18.「失敗」へのコミット:大学を取り巻く疎外的状況によせて(口頭)	話題提供 (単独)	平成21年11月23日	日本青年心理学会第17回大会 研究委員会企画シンポジウム(兵庫教育大学神戸サテライトキャンパス)	司会:都筑学(中央大学), シンポジスト:田中健夫(山梨英和大学)・ 山口昌澄 (中九州短期大学)・高坂康雅(和光大学), コメンテーター:五十嵐敦(福島大学), 中間玲子(兵庫教育大学)	
19.日常活動・生活時間への意味づけの“意味”(口頭)	話題提供 (単独)	平成29年11月26日	日本青年心理学会第25回大会 研究委員会企画シンポジウム(岐阜聖徳学園大学)	司会:高坂康雅(和光大学), 話題提供者: 山口昌澄 (高田短期大学)・五十嵐敦(福島大学), 指定討論者:峰尾菜生子(中央大学大学院)・岡田努(金沢大学)	
20.地域子育て支援ニーズについての一考察—ある地方都市の調査結果から—(口頭)	話題提供 (単独)	平成30年7月10日	高田短期大学育児文化研究センター第50回定例研究会(高田短期大学)		
21.高校生の今を知ろう(口頭)	指定討論	令和5年3月26日	日本青年心理学会研究委員会ワークショップ(桐蔭横浜大学)	司会:溝口侑(桐蔭横浜大学), 話題提供者:溝上慎一(桐蔭学園), 日野田昌士(聖学院中学校・高等学校), 神崎真実(立命館大学), 指定討論者: 山口昌澄 (高田短期大学)	

22.「高校時代の経験についての調査」-「自己決定」という視点から-(口頭)	話題提供 (単独)	令和5年11月19日	日本青年心理学会31回大会 研究委員会企画シンポジウム(早稲田大学戸山キャンパス)	話題提供者:鈴木雅之(横浜国立大学)・佐藤奈月(北海道大学大学院)・ 山口昌澄 (高田短期大学)、指定討論者:山田剛史(関西大学)	
23.これからの保育者養成を考える-令和5年度高田短期大学子ども学科採用先調査(卒業生学習到達度・獲得能力等)分析結果より-(口頭)	話題提供 (単独)	令和6年2月5日	高田短期大学育児文化研究センター第66回定例研究会(高田短期大学)		
(外部資金導入実績)					
1 小児期から思春期におけるメンタルヘルスプロブレム-原因, 対策と調査方法に関する検討-	共著	平成16年3月	厚生労働科学研究費(こころの健康科学研究事業)助成研究「思春期における暴力行為の原因究明と対策に関する研究」	主任研究者 林 謙治, 研究協力者 松田智大・ 山口昌澄 ・梅野裕子, 分担研究者 加藤則子	
2 子どものメンタルヘルスプロブレムの発生時期とその対応-調査票調査の提案	共著	平成16年3月	厚生労働科学研究費(こころの健康科学研究事業)助成研究「思春期における暴力行為の原因究明と対策に関する研究」	松田智大・ 山口昌澄	
3 子育て支援ネットワークづくりにむけて-「スポーツ教室・フェスティバル」・「子育て支援講習会」の実施等をとおして	共著	平成20年3月	独立行政法人・医療福祉機構「長寿・子育て・障害者基金」助成「子育て支援ネットワークづくり」事業	律 順子・中尾香子・小田義隆・永野典詞・下坂剛・ 山口昌澄	
(その他)					
1.阪神・淡路大震災の心理的影響に関する縦断的研究によせて(報告書)	共著	平成9年3月	特定研究「兵庫県南部地震に関する総合研究」サブテーマ(3)大都市直下型地震に関する社会経済学的研究研究グループ(2)・1996年度研究報告書	齊藤誠一・吉田圭吾・佐藤眞子・柳原利佳子・山本智一・森田英夫・坂口喜啓・寺村忠司・田中孝尚・神藤貴昭・野上奈生・住友育世・松田信樹・ 山口昌澄 ・二宮奈津子・榎井律子・宅 香菜子	共同研究のため抽出不可
2.都築 学著「希望の心理学」(書評)	共著 (単独執筆)	平成17年3月	心科研ニュースVol.3		1
3.スキル3:感情とその表出に関する語彙を使用する能力について(翻訳)	共著 (共訳)	平成17年12月	C.サーニ著「感情コンピテンスの発達」ナカニシヤ出版	佐藤 香・有光興記・伊坂裕子・小嶋佳子・ 山口昌澄 ・増田真也・佐野智子	39
4.現代青年と居場所(寄稿)	共著 (単独執筆)	平成22年5月	日本青年心理学会ニュースレター第53号		1

5.いま話題の”子どもの非認知能力”とは？(寄稿)	共著 (単独執筆)	平成30年1月	子育て情報誌きらきら vol.42		1
6.場をつくる難しさ(寄稿)	共著 (単独執筆)	平成30年2月	日本青年心理学会ニューズレター第74号		1
7.子どもの”不器用さ”に付き合う(寄稿)	共著 (単独執筆)	令和元年9月	子育て情報誌きらきら vol.52		1
8.上手に“甘える”ことの大切さ(寄稿)	共著 (単独執筆)	令和3年7月	子育て情報誌きらきら vol.63		1
9.志摩市いじめ問題再調査委員会調査報告書(報告書)	共著	令和3年7月	志摩市いじめ問題再調査委員会(志摩市)		共同研究のため抽出不可
10.「最近気がかりな“ことば”」(寄稿)	共著 (単独執筆)	令和5年7月	Teatime(放送大学三重学習センター)115号		1
11.子どもの心の育ちにつ	共著 (単独執筆)	令和6年1月	子育て情報誌きらきら vol.78		1

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

平成8年6月	日本教育心理学会会員(現在に至る)
平成12年5月	日本発達心理学会会員(現在に至る)
平成12年6月	日本青年心理学会会員(現在に至る)
平成16年10月31日	日本青年心理学会 第12回大会(九州大学)研究発表座長(ロングタイムセッション;研究Ⅳ・Ⅴ)
平成19年4月～平成21年3月	日本発達心理学会会員ニューズレター委員会委員および副委員長
平成19年4月～平成21年3月	日本青年心理学会ニューズレター編集委員
平成19年4月～平成20年3月	独立行政法人福祉医療機構「子育て支援のネットワークに関する事業(社会福祉法人明光福祉会)」実行副委員長